

ASTAGE COLLEGE LIVE NEWS



REPORT ON LIVE LEARNING

ライブ学習レポート 進栄化工株式会社（大阪市鶴見区）訪問記

春先の寒さが残る2月29日（木）、JR放出駅から徒歩10分、駅前通りを少し離れた住宅街にある『進栄化工株式会社（大阪市鶴見区）』に訪問してきました。



代表取締役 竹内祐樹 氏

同社は、昭和55年に設立された企業で、現在の代表取締役である竹内さん（写真右下）で二代目となるそうです。到着し、近藤室長の引率で工場内の見学です。製品にホコリや毛髪が入らないようにヘアキャップを着用した参加者は、少し緊張した様子でした。実際の作業工程を見ると、さっきまでの緊張した表情は一変して明るくなりました。それは「これ、見たことある！あのキャラヤン!!」という声によるものでした。同社は、様々な用途のシール材を製造加工することを主業としておられます。私たちの暮らしているところまで目にするシールやパーツが工場の中で、沢山の人の手で創り出されていく様子を見学させて頂きました。

見学後には、竹内社長、近藤室長に加えて、若手社員の高尾さん、先輩社員のTRAN THU HA（チャン・トゥー・ハー）さん（写真左）を交えて、様々な意見交換の時間となりました。はじめに近藤室長からお二人の紹介があり、その後、近藤室長との対話へと展開しました。高尾さんへの「入社1年が過ぎ、どうですか？」という質問から始まりました。少し緊張した様子で話し出した高尾さんですが、丁寧でわかりやすい言葉を使ったお話に参加者も集中して聞きました。「（高尾）進栄化工に入社したのは、初めは家が近いからだっただけですが（笑）、事務職を探していて、会社見学の時に色んな人が働いている姿を見て入社を決めました。仕事を覚えるのは大変ですが、楽しく働いています。」とのことでした。



近藤室長の案内で工場見学を行う一同
沢山の機械が同時に動いています



キャラクターステッカーに興味深々！
製造スピードの速さにも圧倒されました

若手社員の高尾さん、次第に緊張もほぐれ、色んなお話をしてくれました



先輩社員のハーさん、明るく楽しい話題を幾つも話してくれました



続いて、来日4年目のハーさんに質問が移ります。「働きながら、家族に仕送りをするという目的もありましたし、新しいことをするのが好きだったということもあります（笑）」この話に、ベトナムと日本の違いに話題が発展します。ハーさんからは「軽自動車か四角いのは何で？」「寿司は美味しいけども、納豆の匂いは無理…。カレーの匂いもダメ…。」と身近な話題に緊張が一気にほぐれていきました。

2人の仕事について話題が進むと、世代の近い参加者からの「仕事してみて、怖かったことはありませんか？」との質問に高尾さんは「元々緊張するタイプ。今まで話したこともない大人世代の人のやり取りは凄く緊張した。」「人の視線とかも怖いタイプだったので、夜も眠れず、そこは怖かったですね（笑）」とのこと。また「働いてからは趣味のアニメやゲームに使う時間とお金が増えました！」と明るい一面も話してくれました。ハーさんからは「休日は旅行とかしています。遠くは東京から近くは神戸や奈良とか。次は沖縄に行きたいです（笑）」とアクティブな一面が伝わってきます。

竹内社長に『卓球大会』についての質問が挙がりました。事前に頂いていた資料にもあったのですが、同社では、年末の納会で全社員を対象にした卓球大会を開催するそうです。役職者から一般社員まで、卓球やスポーツに馴染みのある方、そうでない方などが一堂に参加するために、ある工夫をされているようです。それは、卓球のラケットを小さくしてみたり、フライパンに替えてみたり、はたまた、卓球台の上に障害物を置いて、卓球の上手い・下手だけで勝負がつかないような工夫だそうです。

このエピソードにもあるように、進栄化工様では、色々な年代や性別、国籍の違いを持った人々が、一つのチームや家族の様に行動できるような工夫や雰囲気作りが成されています。企業経営を考えると、競合する他社との競争や、市場の変化によって売れる商品やサービスが日々変わっていくという厳しい経営環境など、会社の雰囲気やチームワークよりも優先

されるべき経営課題がたくさんあるように思います。そんな中、何故、竹内社長はこのような取り組みを最優先にされているのでしょうか？話題はその辺りへと進んでいきました。

「（以下、竹内社長）出来る限り男女国籍を問わないという想いもありますし、（ご応募頂く方の9割以上が女性ということもあって、そういった工夫は当たり前に行なってきました。特に女性の場合は子育てとの両立がテーマになることも多いので、会社に子供さん連れて来ていいですよって言っています。実際に自席の横で子どもを寝かしつけていたり、その辺を子どもが走り回っている…ってこともありました（笑）」

「僕は社員のことを自分の子供や家族だと思っています。だから出来るだけ社員たちには楽しく働いて欲しいと思っています。会社に来て働く…、海外から働きに来る…、彼らは何のために会社に来てくれているかと言うと、生活の為、家族の為にですね。色んな人が居る中で、色んな人と接して、それが日々勉強になっています。」と優しく温かく自社の様子を語る竹内社長の人柄が伝わってきます。

続けて参加者にもエールを送ってくれました。「4年前、128kgあった私の体重が、今では86kgです。その間に色々体調を崩しました。目が見えなくなったり、2回も癌になったり、「コロナで死にかけたなり…。それでも生きています。何故生きていられるのか？それは、皆がいるからです。家族（社員）がいるからです。その人たちの為に何が出来たのか？自分に出来ることは何か？できない日があってもいいから、ちょっとずつ階段を昇っていくください。周りの方たちを信頼して、少しずつ昇っていけば、1つ花が咲き、2つ花が咲き…となっていく。皆さんにはまだまだ大変なこともあるかもしれないが、日々楽しいことを見つけて頑張っていくください。」と言葉を結びました。竹内社長、近藤室長、高尾さん、ハーさん、進栄化工の皆さん、素晴らしい機会を有難うございました（了）



「社員は家族」と温かく語る竹内社長、その背景にはご自身の体験が大きく影響しています



ステキな笑顔で記念撮影！皆さん、お疲れさまでした～